

大規模災害時における建設機械の位置情報集約・連携事業 担当府省庁：国土交通省

(事業費：19.7百万円、対象事業：調査・研究開発事業、事業期間：R8)

連携先：内閣府防災、地方公共団体

事業目的

建設機械のテレマティクスデータを活用し、建設機械の位置情報等を国や地方公共団体等が共有できるシステムを構築することで、迅速かつ円滑な災害対応を支援し災害対応力の強化を図ります。

事業概要

(現状・課題)

- ・災害発生時、道路啓開や復旧作業等に必要となる建設機械の位置情報等を、リアルタイムに一元的な情報として把握できていません。
- ・建設機械メーカーが保有するテレマティクスデータを災害時に活用する試行を実施しているが、国土交通省だけでは範囲や効果が限定的になっています。

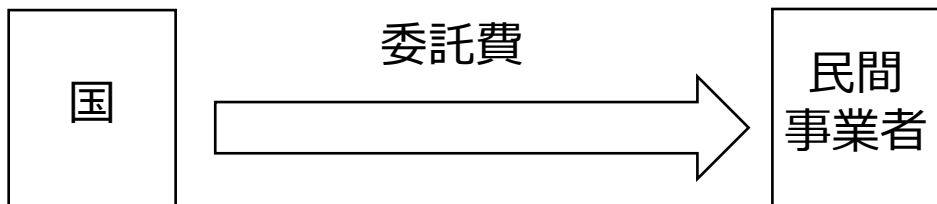
(取組内容)

- ・建設機械の位置情報や災害対応情報を共有できるシステム構築します。
- ・各府省庁や地方公共団体等の使用を想定したシステム構築します。
- ・令和9年度までにSOBO-WEBとの連携を目指します。

実施イメージ・具体例



事業のスキーム



事業により得られる効果 (アウトカム)

各府省庁や地方公共団体等の使用を想定したシステム構築を行うことにより、被災現場に早期に導入可能なより多くの建設機械を迅速に把握できるなど、地方公共団体等を含めた広範囲の災害対応力の強化が図られます。